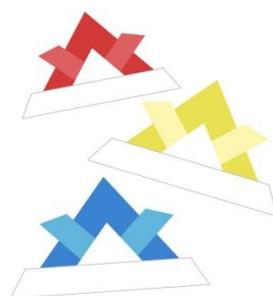


石川県教育支援センター

やすらぎ小松通信 5月号

〒923-8531 小松市島田町イ85-1(小松北高校敷地内)
 TEL 0761-23-6669 FAX 0761-21-7479
 E-mail yasuko@ishikawa-c.ed.jp



室長あいさつ

やすらぎ小松教室
 室長 森 博之

北京オリンピックにおいて、見事銀メダルを獲得したロコ・ソラーレの選手ですが、四年前の平昌オリンピックで銅メダルを獲得した後、国内でも勝てない時期があり、五輪メダリストという肩書と、成績のギャップの苦しさをずっと抱え、自分たちらしさをなくし、苦しんだ時期があったそうです。その状況を解決するために、みんなで話し合っ出て出した結論は、重圧を乗り越えるのではなく、受け入れること。例えば、緊張していれば、「緊張しているかも」と言っている。調子が悪ければ、「きょうダメかも」と仲間を頼っている。つまり、自分の弱さを受け入れ、仲間を頼る「弱さの共有」をすることで自分たちらしさを取り戻し、今回の素晴らしい活躍となりました。

新学期は様々な思いがあって、緊張感のある日々が続きます。不安や悩みがある人は一人で抱え込まず、家族、先生、スクールカウンセラー、周りの友達、誰にでもいいからあなたの悩みを話してみてください。やすらぎ小松教室では、いろいろな心の悩みを持った生徒や保護者の方の相談場所となっております。構えることなく、気軽に教室に電話や来室してもらえればと思います。

～教育支援センター「やすらぎ小松教室」では～

原則として小松・能美地区に在学または在住の高校生で、こころに不安や悩みがあって学校になじめなくなったり、登校できなくなったりした生徒を対象に、

- ① 心が安定できる居場所づくり
- ② 体験活動や学力の補充を通して、学校への復帰を支援
- ③ 本人が社会的な自立がはかれるように、在籍高校をはじめ関係機関とも連携した取り組み

を行います。

臨床心理士や社会福祉士の先生方による個別相談会を中心に据えて、高校生やその保護者に対するカウンセリングを実施し、生徒の抱える悩みや課題の解決のために支援を行っていきたくと考えています。今年度は、SC（臨床心理士）の個別相談会が月2回に増えています。

年度当初は新しい環境となり、様々な悩みを抱えやすい時期かもしれません。深刻化する前に、遠慮せずにやすらぎ教室の個別相談を利用していただければと思います。



令和4年度 やすらぎ小松教室 スタッフ

室長	森 博之	副室長	中田 修一
相談員	近岡 守	相談員	稲葉 幹雄
SV	浅田 伸史 (臨床心理士)		
SC	中谷 智一 (臨床心理士)		
SSW	桑原 千恵 (社会福祉士)		

■ SV(スーパーバイザー)個別相談会 ■

要予約 臨床心理士 浅田伸史先生による相談会

5月… 11日、18日、25日
6月… 1日、8日、15日、22日、29日
7月… 6日、13日、20日

※原則として水曜日の午前中に実施しています。

■ SC(スクールカウンセラー)個別相談会 ■

要予約 臨床心理士 中谷智一先生による相談会

5月… 2日、16日、30日
6月… 6日、20日
7月… 4日

※原則として、月2回、月曜日の午前中に実施しています。

■ SSW(スクールソーシャルワーカー)個別相談会 ■

SSW(スクールソーシャルワーカー)個別相談会は、「児童生徒の取り巻く環境」に注目して、問題の解決を図ることを目的としています。本教室に派遣されるSSWは、社会福祉士の資格を有し、生徒を取り巻く環境の影響や生徒の高校生活そのものから生じる悩みについて、お話を伺います。さらに、行政・関係機関などと連携し、時には既存の制度を活用して、生徒を取り巻く環境に対する問題解決に努めるものです。

要予約 社会福祉士 桑原千恵 先生による相談会

5月… 24日 6月… 14日 7月… 12日

※原則として、月1回、火曜日の午前に実施しています。

やすらぎ小松教室では、高校生の皆さんの悩みについての相談を、在籍する高校と課題を共有し、連携をとりながら解決に近づくためのものと考えています。ただし、相談内容や相談そのものについて「学校には知られたくない」という場合には、その意に沿って対応いたします。

当教室の臨床心理士や社会福祉士による個別相談内容についても、学校での適切な指導の一助とするために、相談者の了解の下、差し障りのない範囲で学校にお知らせしています。

『やすらぎ小松教室』

ちょっと学校を離れ
ゆっくりと心と体を休めませんか
一人で自分を見つめてみませんか
ときには仲間と語り合いませんか
自分のできることを見つけませんか

